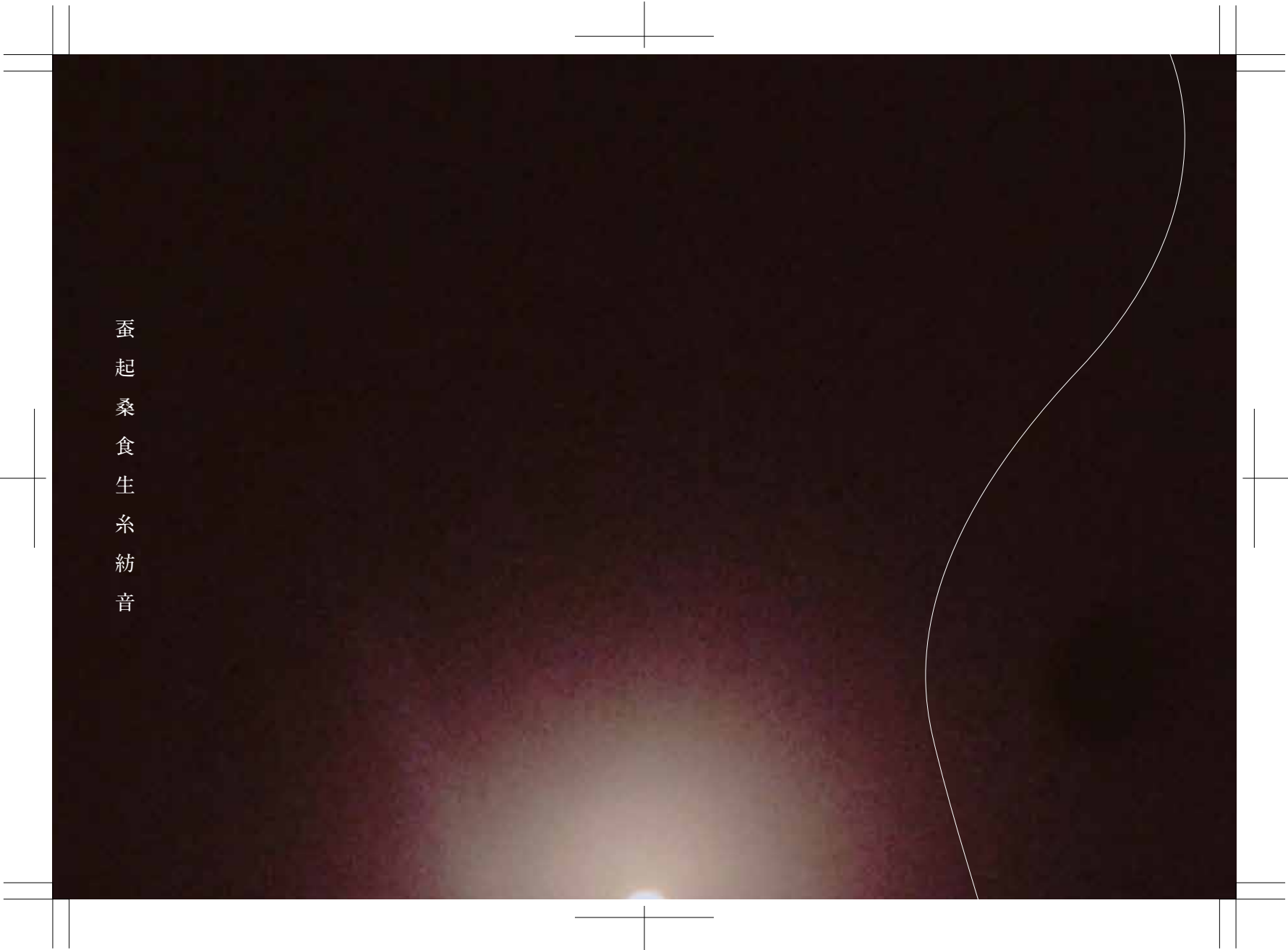
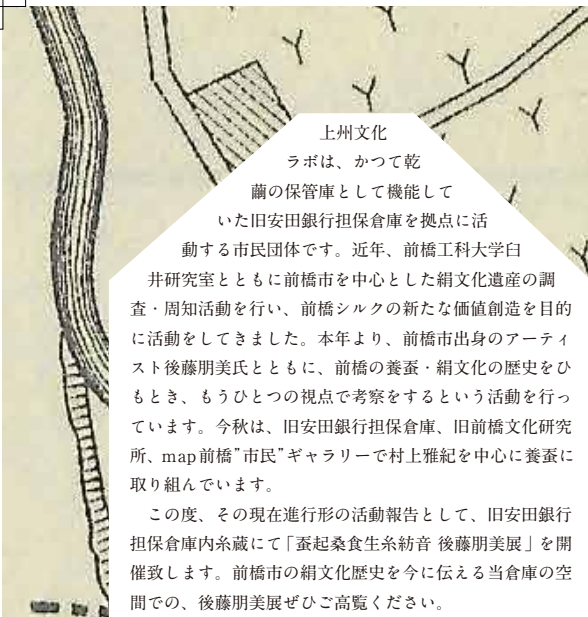


蚕起桑食生糸紡音





上州文化

ラボは、かつて乾

繭の保管庫として機能して

いた旧安田銀行担保倉庫を拠点に活

動する市民団体です。近年、前橋工科大学白

井研究室とともに前橋市を中心とした絹文化遺産の調査・周知活動を行い、前橋シルクの新たな価値創造を目的に活動をしてきました。本年より、前橋市出身のアーティスト後藤朋美氏とともに、前橋の養蚕・絹文化の歴史をひもとき、もうひとつの視点で考察をするという活動を行っています。今秋は、旧安田銀行担保倉庫、旧前橋文化研究所、map前橋”市民”ギャラリーで村上雅紀を中心に養蚕に取り組んでいます。

この度、その現在進行形の活動報告として、旧安田銀行担保倉庫内糸蔵にて「蚕起桑食生糸紡音 後藤朋美展」を開催致します。前橋市の絹文化歴史を今に伝える当倉庫の空間での、後藤朋美展ぜひご高覧ください。

Kaiko Okite Kuwawo Hamu, Umareru Itowo Tsumugu Oto

2018/11/3 sat ≈ 4 sun
OPEN 13:00~18:00

11/4 sun 18:10~19:10 クロージingtーク「養蚕を通して見えてきたこと」
後藤朋美 (アーティスト) × 白井敬太郎 (前橋工科大講師)
× 村上雅紀 (上州文化ラボ代表)

会場 旧安田銀行担保倉庫西側 糸蔵
前橋市住吉町 2-10-2 Tel. 027-231-5782
*お車でお越しの際は倉庫南側駐車場 NO.16~22 を
ご利用下さい。満車の場合は係員にご相談下さい。

入場料 無料 問合先 090-2522-8079 (村上)

主催 上州文化ラボ

協力 (協)前橋商品市場、前橋工科大学白井研究室
特定非営利活動法人カラフル、座織り・染織家 中野絨子
「前橋まちなかアーツ助成」

養蚕場所 9/8~9/23 前橋文化研究所
9/23~10/3 map (前橋”市民”ギャラリー)

後藤朋美 蚕起桑食生糸紡音

Tomomi GOTO

EXHIBITION

前橋市全図・大正14年10月



PHOTO DIARY
Tomomi GOTO

2018/9/16 sun 16:45

村上さんと桑畑に桑を刈りに行く。
そこで、桑を食む「桑子」に初めて出会った。

村上さんと大胡の桑畑に桑を刈りに行く。
そこで、桑を食む桑子に、初めて出会った。

身体はうっすらと緑色で、顔の中心は私の知っている蚕と違って尖っている。
桑は大きく育っていて、私の背丈をゆうに超える。
株の根元にはバッタや小さな虫たちが生息していて、少し歩いただけで、
見たことのない綺麗な色の羽根のある昆虫、懐かしいカミキリムシが
目に飛び来んでくる。緑の桑の葉に緑の蛙。

幼少の頃、荒牧の実家の前にも、まだ桑畑があって桑のみ(とどめ)をつぶして
妹達とおままごとの材料にして遊んだことを思い出す。
桑の間をくぐり抜け、おいかけっこをしたり
桑の根元の土をほりおこしたり、
桑畑と道路の境界線に座り、夕暮れ時の我が家をよく見上げていた。

桑の茎には十分な水分があって、
パチパチと一葉を摘む度に音がする。
株から伸びた上半分のところを切った
桑一束分を車につんで研究所へ戻る。

・蚕起桑食・
七十二候の一つ。二十四節気の小満の初候に相当し、
季節は初夏。蚕が桑を盛んに食べ始めるなどの意味。